



# 第 1 章

## 第 4 次水道事業総合計画の 目的と位置付け

- 1. 1 目的
- 1. 2 位置付け
- 1. 3 基本理念及び基本目標

# 第1章 第4次水道事業総合計画の目的と位置付け

## 1.1 目的

八戸圏域水道企業団（以下「当企業団」という。）では、平成 21 年度に作成した「第 3 次水道事業総合計画」（おらほの水ビジョン 2009）を地域水道ビジョンと位置付け、「安全でおいしい水道水の供給」、「さらなるライフラインの強化」、「持続性の高い水道事業運営」、「環境にやさしい水道の推進」の 4 つの視点から諸施策を提示し、その目標を達成するための事業を継続してきました。

少子高齢化に伴う水需要の低迷、水道施設の老朽化による更新事業、事故や災害などによる危機管理対策、職員の大量退職による人材確保及び技術継承、更なる広域連携や環境対策など、多くの課題を有している中で、将来にわたり安定した経営基盤の確立と健全な事業運営が求められています。

このような状況の中、新水道ビジョンに掲げている「安全・安心な水道」、「強靱な水道」及び「水道サービスの持続」の施策目標を確実に達成するため、将来像を見据えた「第 4 次水道事業総合計画」を策定しました。

## 1.2 位置付け

本計画は、当企業団の今後 50 年、100 年後の安定経営を視野に入れ、平成 31 年度（2019 年度）から平成 40 年度（2028 年度）まで 10 年間の事業運営の方針を示したものです。

「新水道ビジョン」（厚生労働省）に基づき、施設整備にアセットマネジメント手法を用いて、多様化するお客様ニーズや社会情勢の変化に応じて評価・見直しを行いながら長期的な方向性を示す「水道事業ビジョン」と「経営戦略」（総務省）として位置付けました。

表 1.1 第 4 次総合計画の位置付け

年度	S61 1986	62 1987	63 1988	H1 1989	2 1990	3 1991	4 1992	5 1993	6 1994	7 1995	8 1996	9 1997	10 1998	11 1999	12 2000	13 2001	14 2002	15 2003	16 2004	17 2005	18 2006	19 2007	20 2008
認可計画	創設認可 (S61.3.25)		第1期拡張事業変更認可 (S62.12.26)										変更認可 (H13.3.30)		変更届 (H17.3.24)								
総合計画	第1次総合計画 (S62.12)										第2次総合計画 (H11~H20)												
財政計画	第1次 (S61~S63)			第2次 (H1~H2)		第3次 (H3~H5)			第4次 (H6~H8)		第5次 (H9~H13)			第6次 (H14~H17)			第7次 (H18~H22)						
年度	H21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	25 2013	26 2014	27 2015	28 2016	29 2017	30 2018	31 2019	32 2020	33 2021	34 2022	35 2023	36 2024	37 2025	38 2026	39 2027	40 2028			
認可計画	変更届 (H17.3.24)		変更認可 (H24.3.30)		変更届 (H26.2.6)																		
総合計画	第3次総合計画 (H21~H30) 「おらほの水ビジョン2009」										第4次総合計画 (H31~H40) 「はちの水ビジョン2019」												
財政計画	第7次 (H18~H22)		第8次 (H23~H26)			第9次 (H27~H30)			第10次予定 (H31~H34)			第11次予定 (H35~H37)			第12次予定 (H38~H40)								

### 1.3 基本理念及び基本目標

当企業団水道事業の目指すべき将来像として、基本理念及び基本目標を定めました。  
基本理念を「地域の水を守るため進化し続ける八戸圏域水道」とし、基本目標を厚生労働省の新水道ビジョンに掲げる「安全」「強靱」「持続」に「連携」を加えた4つの視点としました。

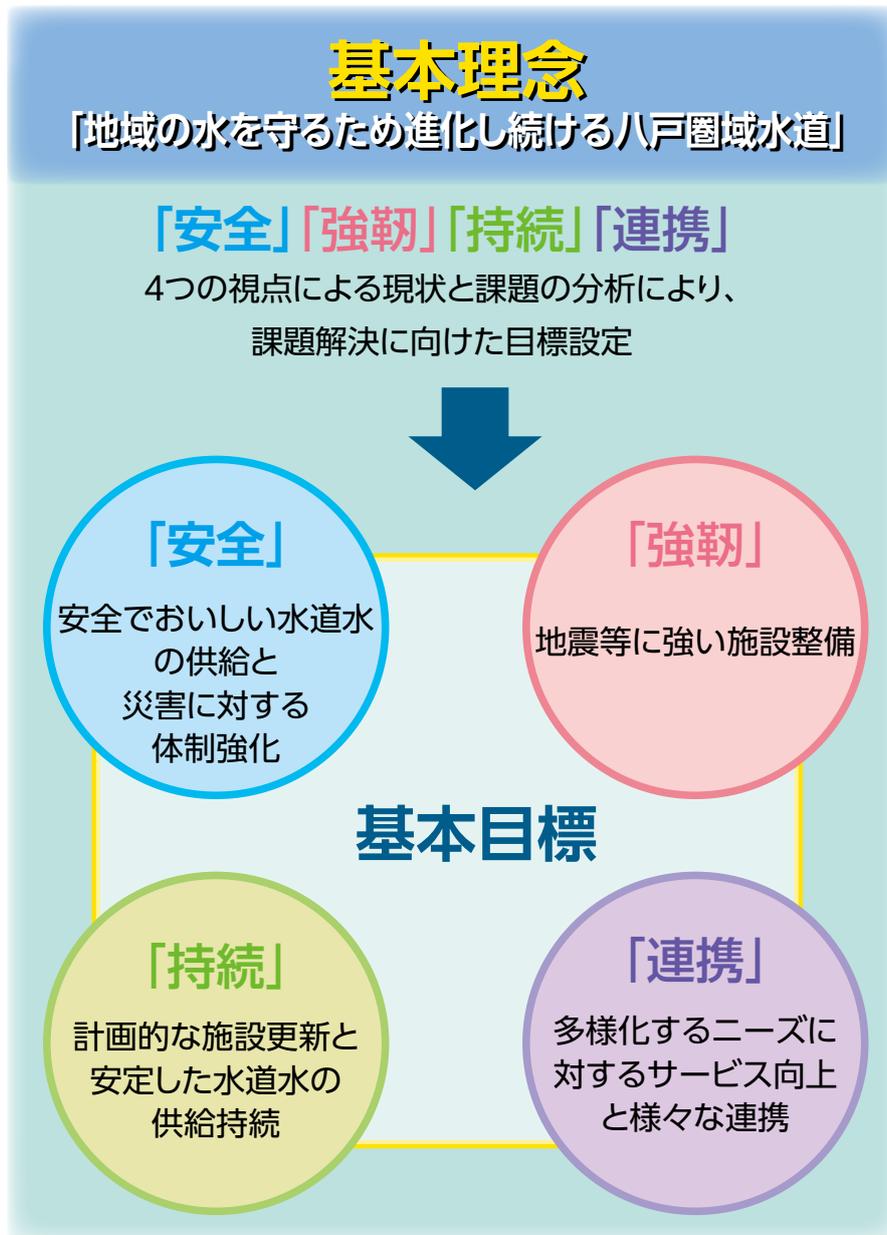


図 1.1 基本理念及び基本目標

